

(1) 業務の目的

本業務は、UDを踏まえたまちづくりの推進に向けた検討の基礎資料とするため、他自治体の様々な優良事例の把握・分析等を行い、必要な方向性、取組、仕組み等に関する調査・研究を実施するものである。

(2) 庁内グループインタビュー調査

①実施概要

UD施策推進にあたり、ボトルネックとなっている課題把握や今後の取組の意見交換のために実施した。

テーマ	日程	協力関係課
移動等円滑化におけるUD	2025年8月4日(月)	交通計画課/障がい福祉課/みどりの推進課/交通局
施設整備におけるUD	2025年8月5日(火)	区政課/子ども企画課/経済企画課/建築工事課
ソフトのUD	2025年9月11日(木)	国際芸術祭担当課/スポーツ振興担当課/障がい福祉課



②調査結果の概要(課題やニーズ)

テーマ	概要(課題やニーズ)
移動等円滑化におけるUD	<ul style="list-style-type: none"> 障がい種別によらないユニバーサルデザイン整備のノウハウ確立 民間事業者がユニバーサルデザイン整備を牽引できる環境づくり 建築技術者向けのユニバーサルデザイン研修、等
施設整備におけるUD	<ul style="list-style-type: none"> 効果的にUD改修が進む発注形態の工夫 「定性的基準(望ましい基準)」に基づく整備の質を高める仕組みづくり ユニバーサル推進室の役割のさらなる強化、等
ソフトのUD	<ul style="list-style-type: none"> イベントなど時限的に活用する既存施設のハード改善のノウハウ化 ユニバーサルデザインに配慮したイベントノウハウの庁内共有 合理的配慮の観点で市として対応する範囲の明確化、等

(3) 先行自治体の調査

①実施概要

先行自治体を4団体選定し、札幌市の参考となる施策等を調査・分析するために、インタビュー調査を企画・実施した。

自治体	日程	選定キーワード
浜松市	2025年8月18日(月)	UD老舗自治体、所管が特命系(UD・男女共同参画課)
練馬区	2025年8月19日(火)	区民参画が進展、まちづくり公社連携、独自施策、所管が福祉系(地域福祉係)
板橋区	2025年8月19日(火)	行政主導、所管が障がい支援系(障がい政策課)
世田谷区	2025年8月19日(水)	官民協働が進展、多彩な施策、所管が都市系(都市デザイン課)

②調査結果の概要(参考となる施策)

自治体	概要(参考となる施策)
浜松市	職員向けUD研修及び推進員制度、アクト通りUD学習施設見学、等
練馬区	UDの整備事例と設計のヒント集、イベントマニュアル、等
板橋区	UDニュース、ユニバーサルデザインガイドライン、等
世田谷区	UDワークショップ、整備事例の蓄積・公開、等



(4) 有識者からのアドバイス

「ユニバーサルデザインを踏まえた施策等への提言」中間報告に対して、助言をいただくために実施した。

①実施概要

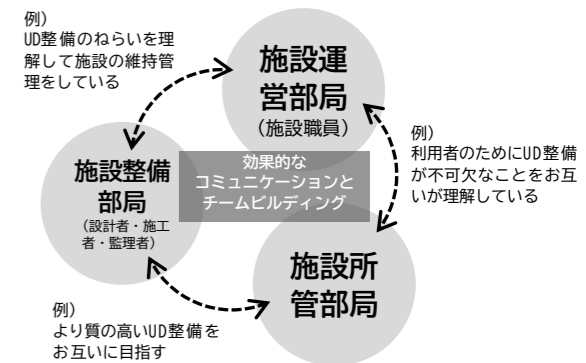
有識者	日程	ご所属
植田瑞昌先生	2025年11月05日(水)	日本大学 理工学部 まちづくり工学科助教
鈴木克典先生	2025年11月21日(金)	北星学園大学 経済学部経営情報学科教授

②アドバイスの概要

有識者	概要
植田瑞昌先生	<ul style="list-style-type: none"> 基準を示す背景にある考え方を伝えることが必要である UDに正解はなく、お互いの理解と話し合いの積み重ねが大切である 過去の整備実績を参照できるとよい、等
鈴木克典先生	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市として、各事業に共通する「目指すところ」を示すとよい UDの考え方を、事例などを使いわかりやすく伝えることが大切である お互いの理解を深め当事者と一緒に考えることが大切である、等

(5) 試行事業(モデル研修会)の実施

庁内グループインタビュー調査や先行自治体の調査成果を踏まえ、施設運営部局、施設整備部局、施設所管部局の3者連携のさらなる充実を図ることが課題であることが明らかになったため、試行事業として、庁内職員を対象に「モデル研修会」を企画・実施した。



①実施概要

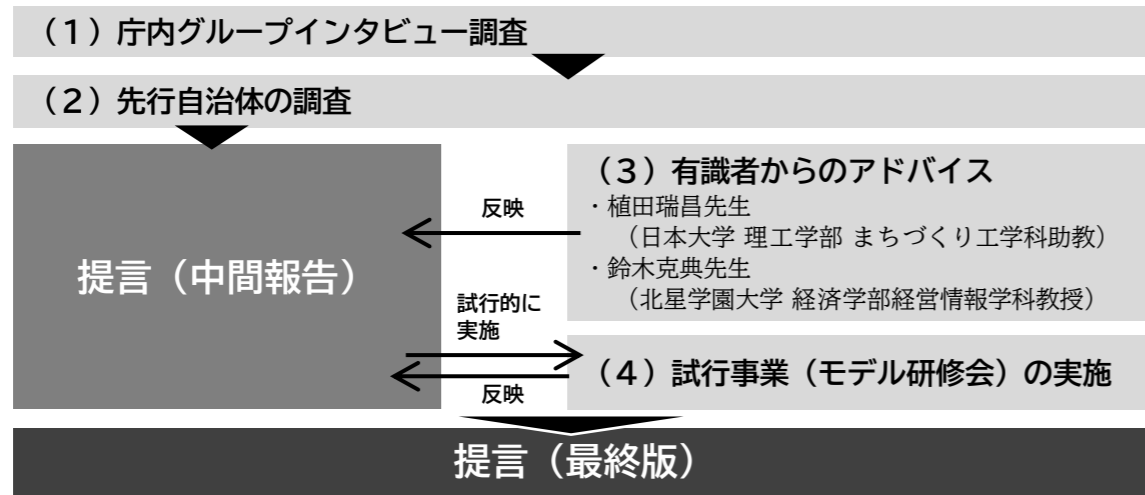
時間	内容
13:30(5分)	1 開会あいさつ(須志田部長)
13:35(50分)	2 座学研修 (1) ユニバーサルデザインに向けた基礎と実践 ①講義/講師: 植田 瑞昌 先生 ・ユニバーサルデザイン整備・改修や運用の基礎 ・設計・整備が実際どう使われるのか ②お悩み座談会 ・日頃の悩みなどを相談
14:25(40分)	(2) カラーユニバーサルデザインとは何か ・講師: 栗田正樹さん(北海道 CUDO 副理事長) (講義) ・カラーUDとは何か ・色に対する見え方の多様性(LSM 感度検証) ・整備事例(旭山動物園の館内図/JISの安全色の改正: 赤、緑など) (体験) ・黒いカラクリ箱(色弱体験) ・バリアントール(体験型メガネ2つ) ・色のシミュレーター(スマホアプリ)
15:05(5分)	~休憩~
15:10(65分)	3 体験型研修 ●「車椅子利用者」体験プログラム ・車椅子の走行体験、等 ●「視覚障がい者」体験プログラム ・誘導ブロック、白杖使用の体験、等
16:15(10分)	4 振り返り ・参加者と共に今後の研修内容を意見交換
16:25(5分)	5 閉会 ・講評・感想/植田先生、栗田先生 ・あいさつ(須志田部長)



(6) ユニバーサルデザインを踏まえた施策等への提言

札幌市におけるUDまちづくりの推進に向けて今後必要な取組等を整理した。

①提言の作成プロセス



②提言の全体像

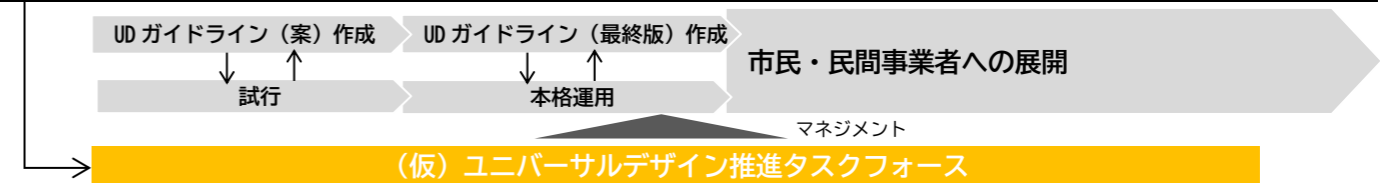
UDまちづくりの推進課題を「意識的課題」「技術的課題」「組織的課題」に整理し、提言を作成した。

課題	課題に対する今後の取組(提言)
意識的課題	【STEP1】市職員によるUD理解促進 <ul style="list-style-type: none"> ●UDに対する市職員の理解促進研修の実施 ●市民・民間事業者向けUD理解促進事業の実施方針の検討 ●UD理解促進事業の効果検証の仕組みの検討
	【STEP2】市民・民間事業者向けUD理解促進事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ●UD教育における学校との更なる連携促進 ●ターゲット別の市民向けUD理解促進事業の実施 ●民間事業者向けUD理解促進事業の実施
技術的課題	【STEP1】UD整備や改修の効果的な推進 <ul style="list-style-type: none"> ●「定性的基準(望ましい基準)」に基づく整備の考え方の提示 ●UD整備の内容を検討・判断する考え方の提示 ●UDチェック・事後評価・データベースの仕組みづくり ●施設の整備計画へ盛り込むべきUD項目の設定 ●イベント開催のノウハウの整理 ●合理的配慮の観点で市として対応する範囲の明確化
	【STEP2】各整備計画の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ●UD改修を計画的に進めるための中長期計画の作成 ●ハード整備・改修の内容や量の検討
	【STEP3】民間によるUD整備の展開 <ul style="list-style-type: none"> ●障がい種別によらないUD整備ノウハウ確立 ●バリアが違う利用者双方の利便性確保を踏まえた整備方法の検討 ●新たな考え方に合わせたUD改修方策やノウハウの官民共有機会の確保
組織的課題	【STEP1】整備・改修実績等のノウハウ共有 <ul style="list-style-type: none"> ●UD整備・改修実績の庁内共有 ●イベントなど時限的に活用する既存施設のハード改善のノウハウ共有 ●UDに配慮したイベントノウハウの庁内共有 ●複数あるUD所管の横連携や組織体制の在り方の検討 ●効果的にUD改修が進む体制の検討
	【STEP2】官民連携の促進 <ul style="list-style-type: none"> ●民間事業者によるUD整備の更なる推進
	【STEP3】仕組みの評価・検証・見直し <ul style="list-style-type: none"> ●仕組みの評価・検証による必要な内容・運用の見直し

③ロードマップ

2026年度から2031年度までの6年間の取組ロードマップを整理した。3つの課題の解決を総合的に図るツールとして「(仮)札幌市ユニバーサルデザインガイドライン」を作成するとともに、UDの推進体制を検討する「(仮)ユニバーサルデザイン推進タスクフォース」を設置する。

	2026	2027	2028	2029	2030	2031
意識的課題	【STEP1】市職員によるUD理解促進 <ul style="list-style-type: none"> ●UDに対する市職員の理解促進研修の実施 ●市民・民間事業者向けUD理解促進事業の実施方針の検討 ●UD理解促進事業の効果検証の仕組みの検討 		【STEP2】市民・民間事業者向けUD理解促進事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ●UD教育における学校との更なる連携促進 ●ターゲット別の市民向けUD理解促進事業の実施 ●民間事業者向けUD理解促進事業の実施 			
技術的課題	【STEP1】UD整備や改修の効果的な推進 <ul style="list-style-type: none"> ●「定性的基準(望ましい基準)」に基づく整備の考え方の提示 ●UD整備の内容を検討・判断する考え方の提示 ●UDチェック・事後評価・データベースの仕組みづくり ●施設の整備計画へ盛り込むべきUD項目の設定 ●イベント開催のノウハウの整理 ●合理的配慮の観点で市として対応する範囲の明確化 		【STEP2】各整備計画の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ●UD改修を計画的に進めるための中長期計画の作成 ●ハード整備・改修の内容や量の検討 	【STEP3】民間によるUD整備の展開 <ul style="list-style-type: none"> ●障がい種別によらないUD整備ノウハウ確立 ●バリアが違う利用者双方の利便性確保を踏まえた整備方法の検討 ●新たな考え方に合わせたUD改修方策やノウハウの官民共有機会の確保 		
組織的課題	【STEP1】整備・改修実績等のノウハウ共有 <ul style="list-style-type: none"> ●UD整備・改修実績の庁内共有 ●イベントなど時限的に活用する既存施設のハード改善のノウハウ共有 ●UDに配慮したイベントノウハウの庁内共有 ●複数あるUD所管の横連携や組織体制の在り方の検討 ●効果的にUD改修が進む体制の検討 		【STEP2】官民連携の促進 <ul style="list-style-type: none"> ●民間事業者によるUD整備の更なる推進 	【STEP3】仕組みの評価・検証・見直し <ul style="list-style-type: none"> ●仕組みの評価・検証による必要な内容・運用の見直し 		



④(仮)札幌市ユニバーサルデザインガイドラインの構成イメージ

1 目的等

- (1) 作成の背景と目的
- (2) 活用方法と更新

2 困りごとを知る

- 2-1 ユニバーサルデザインとは何か
- 2-2 「動くこと」に困っている人
- 2-3 「見ること」に困っている人
- 2-4 「聞くこと」に困っている人
- 2-5 「伝える・理解すること」に困っている人

3 札幌市の施策の現状を知る

- (1) 理解促進事業一覧
- (2) 施設整備関連施策一覧

4 ガイドライン

- 4-1 施設整備編
 - (1) スパイラルアップに向けた基本的な手順
 - (2) 施設計画の配慮事項
 - (3) 設計・工事の配慮事項
 - (4) 施設運用の配慮事項
 - (5) UDチェックの仕組み
- 4-2 コミュニケーション編
 - (1) 会議・イベント
 - (2) 広報

5 整備・改修事例集

- (1) 運用方法
- (2) 整備・改修・運用事例
- (3) 会議・イベント/広報事例

【ガイドラインと提言内容との関係】
「・文章」は提言本文の下線部の要約

意識的課題	【STEP1】市職員によるUD理解促進 <ul style="list-style-type: none"> ●UDに対する市職員の理解促進研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・UDとは何かを学ぶ ・当事者の困りごとを体験的に実感する ●市民・民間事業者向けUD理解促進事業の実施方針の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・市の既存理解促進事業のリスト化 ・連携・連続開催等方針の検討 ●UD理解促進事業の効果検証の仕組みの検討 <ul style="list-style-type: none"> ・市民・民間事業者向けUD理解促進事業後の「行動変容」調査等、成長プロセスを評価する方法等の検討
	【STEP1】UD整備や改修の効果的な推進 <ul style="list-style-type: none"> ●「定性的基準(望ましい基準)」に基づく整備の考え方の提示 <ul style="list-style-type: none"> ・基準の目的の理解促進等 ●UD整備の内容を検討・判断する考え方の提示 <ul style="list-style-type: none"> ・努力する範囲の見える化 ・人的対応を合わせた代替措置の考え方整理 ●UDチェック・事後評価・データベースの仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・第三者調整役設置・竣工後評価・データベース化の仕組みづくり ●施設の整備計画へ盛り込むべきUD項目の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・UDチェックリストや雛形作成 ●イベント開催のノウハウの整理 <ul style="list-style-type: none"> ・配慮事項を体系化 ●合理的配慮の観点で市として対応する範囲の明確化 <ul style="list-style-type: none"> ・広報や情報発信時の統一的な基準づくり
組織的課題	【STEP1】整備・改修実績等のノウハウ共有 <ul style="list-style-type: none"> ●UD整備・改修実績の庁内共有 <ul style="list-style-type: none"> ・整備・改修実績の事例集作成 ●イベントなど時限的に活用する既存施設のハード改善のノウハウ共有 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント暫定改修の事例集作成 ●UDに配慮したイベントノウハウの庁内共有 <ul style="list-style-type: none"> ・イベントノウハウや広報の事例集作成